

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日

2021年3月2日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	大田区役所		代表者名	松原忠義
担当者部署	福祉部		連絡先電話番号	03-5744-1243
担当者役職	係長	担当者氏名	遠藤芳行	連絡先E-mail
住所	1448621 東京都大田区蒲田5-13-14			

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DXの考え方、データアカデミー、デザイン思考などを、他自治体の事例をも交えながら丁寧かつ分かりやすく説明してもらえた。そして、プロジェクト推進にあたり基本的な進め方の理解について、プロジェクト・メンバーの共通理解を構築することが出来ました。
アドバイザーへの要望事項	特に無し

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年1月29日	9時00分	12時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	大田区役所蒲田地域庁舎		最寄駅	JR蒲田駅
	所在地	東京都大田区蒲田本町2-1-1		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	事前打合せ(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	システム再構築及び一部システムの再開発を進めるにあたり、多くの所属を有する部局として、意識の統一やプロジェクト推進の意義、方法を共有する必要性がありました。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	プロジェクトのコアメンバーに現状課題の共有とプロジェクト推進のマインド共有をしてもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	対象システムを取り巻く社会情勢、課題解決の進め方(データアカデミー)、サービスデザイン思考などについて概要を他自治体の事例していただいた上で、現状システムの困りごとや、目指す姿出席者に個別に考え、それらをまとめ、意見交換する時間を持った。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	プロジェクト推進に必要な目的や実施方法について共有し、現状について意見の共有を図ることが出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特に無し	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業を立ち上げる前の共通認識の構築を主眼としたものであったため、特に、アンケートは行わなかった。しかし、個別に聴取した結果では、「目からうろこが落ちた」など大変好評かつマインド向上が図れたような意見ばかりであった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

